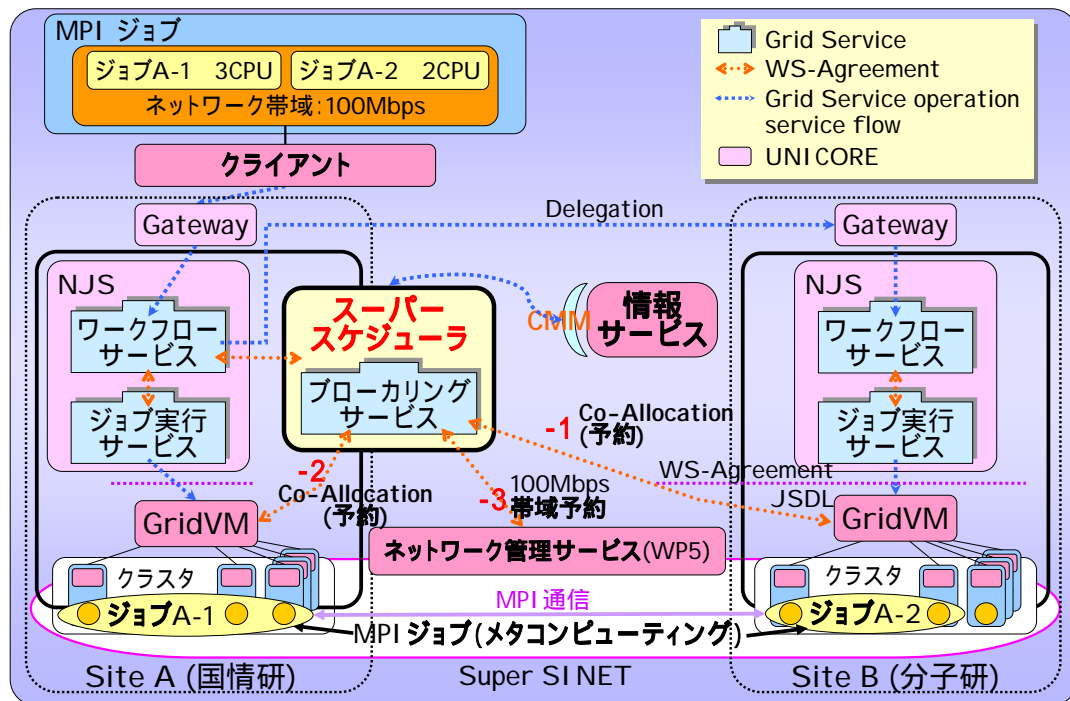


# スーパースケジューラ

グリッド上に存在する多様な計算資源の中から、利用者のジョブ要求に応じた資源を自動探索し、グリッド環境でのジョブスケジューリングを行う。複数機関をまたいだ、多種・多様・広大な計算資源をまとめたメタコンピューティング環境の実現を目指す。

## 1. スーパースケジューラの位置付け

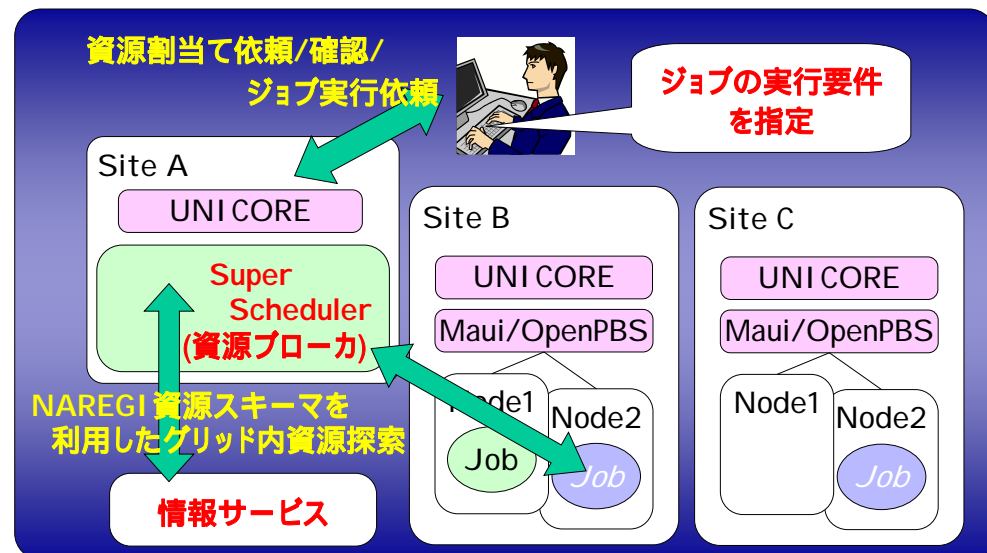


- グリッド環境内で共有される多様な資源の中から、ジョブや資源管理者の要件に適合した資源を自動探索。
- 各資源の情報はDMTF\*1のCIM\*2に準拠したモデルで表現。機種などに依存しない統一的な資源情報管理を実現。

\*1: Distributed Management Task Force

\*2: Common Information Model

## 2. デモシステムの概要



- UNICORE 4.x を拡張し、自動的にジョブ実行マシンを探索する「資源ブローカ」を試作。
- グリッド内の資源照会にはCIMを拡張した「NAREGI資源スキーム」を利用。
  - 基本的なシステム資源(搭載CPU数・メモリ量など)とソフトウェア資源(インストール済パッケージなど)を機種に依存することなく統一的に管理可能。